

標 題	これからの就農相談はタブレット端末で！ ～就農・定住情報のパッケージ化により、就農希望者の呼び込みを～
------------	--

(ダイジェスト)

浜田市では、就農・定住に繋げるため、金城町今福地区を「就農パッケージ化モデル」に設定して地域の営農・農地・住宅・生活情報等を集約・整理（パッケージ化）し、各種情報をHPに掲載するとともに、就農相談会時にはタブレット端末を活用した相談をスタートさせました。

これまで就農相談会等を機に同市を訪ねてくるUIターン者がいましたが、相談会の機会や相談者数が減少傾向にある中、地域の営農・農地・住宅・生活情報等を集約・整理（パッケージ化）し、その場でタブレット端末を介して提供することで、就農希望者に具体的な就農・定住のイメージを持ってもらうことを目的に、金城町今福地区を「就農パッケージ化モデル」に設定し、UIターン就農希望者の確保に繋がる取り組みを始めました。

島根県農業経営課、浜田市、浜田市農業委員会、島根県西部農林振興センター（総務企画部、浜田農業普及部）が構成員となった検討会議を幾度か重ねていく中、以下のコンテンツ情報を各機関で集約・整理していきました。

- 就農モデル策定：浜田市農林業支援センター・浜田農業普及部
- 空き農地情報：農業委員会
- 空き家情報：浜田市金城支所防災自治課
- 仕事情報：農業経営課 ■ 生活情報：浜田市金城支所産業建設課



タブレットを使った就農相談の様子

農業普及部は、浜田市金城町を例に浜田市農林業支援センターと「就農モデル」を検討し、4パターンを策定するとともに、タブレット端末で表示することを想定した「見せる」ためのレイアウト（写真を多く掲載、年間作業スケジュールを図示等）を検討しました。

「デモ版」が7/14に完成し、その後、東京・大阪での各種相談会時に浜田市担当者がタブレット端末を活用して「パッケージ」を提示し、相談者に就農・定住に係る具体的なイメージを持ってもらうようにしました。

各種情報をタブレット端末で分かりやすく提示できるため、相談者も同市の概要や営農のイメージが掴みやすく、その結果、9月の大阪での相談会で浜田市のブースを訪ねた就農希望者が実際に同市を訪ね、有機葉物野菜栽培者の視察を行いました。

10/3からは一般の方も浜田市のHPから情報を閲覧出来るようになり、今後は同市のHPをアクセスした就農希望者からの問い合わせが増加することが期待されます。

【浜田市就農・生活パッケージ HPアドレス】

<http://www.city.hamada.shimane.jp/www/contents/1529471140548/index.html>

